

## 第4回「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会 委員発言要旨

H25.7.26

### 【安心】

(子育て関連)

- ・子どもが満足する視点が重要で、小さいこどもは家庭で過ごせるような、子どもの視点に立った施策が重要ではないか。
- ・子どもの自尊意識を強めることが大切。

(障がい者関連)

- ・就労継続支援事業所には、A型（雇成型）とB型（非雇成型）とあるが、大分県はB型利用が多い。A型は雇用率に含まれるがB型は雇用率に含まれないため、A型を伸ばすような取組を行えば雇用率が上がるのではないか。
- ・社会福祉法人自らが、精神障がい者、知的障がい者を雇用するといった施策をしたらどうか。

(女性の活躍)

- ・女性の活躍推進は、国の成長戦略にも記載されているように、非常に大切である。行政としてしっかりと取り組むべきではないか。

(ユニバーサル社会)

- ・「あったか・はーと駐車場」は、利用者の方から「このお店にはなぜ無いのか」といった声上がるようにすれば、民間施設の協力が得やすいのではないか。

### 【活力】

(エネルギー関連)

- ・エコエネルギーについて、地熱・温泉熱発電の申請が増えており、温泉も限りがあるので、今の基準のままでいいのか検討が必要ではないか。

(商店街関連)

- ・農業の担い手づくりはうまくいっているようだが、商店街の担い手づくりは課題が多い。
- ・防犯カメラの設置は、防犯上有効と言われているが、設置には商店街の負担が生じる。体力のない商店街も多いので検討が必要ではないか。

(景気・雇用対策)

- ・景気・雇用対策の目標指標における達成度が高いが、県内の現状と一致していないと感じる。更なる対策が必要ではないか。

#### (地域活性化)

- ・世界農業遺産の認定は地域の元気の源になる。国東は、芸術祭なども行われており、ありがたい。
- ・地域活性化には、芸術文化やツーリズムとの連携も大切であり、地元住民との意見交換が重要ではないか。

#### (海外観光客)

- ・海外からの受入れだが、今年になって流れが変わってきており、中国や韓国だけでなく、ASEAN諸国から訪れる人が増えてきている。どんな国の人か来ようとも対応できる、こちらの受入れ体制をつくることが重要ではないか。

#### (国際人材)

- ・大分県の留学生が多く、受入れはうまくできていると思うが、現地で見ると感じるということが大切。アジアの国々などへ出向き、青少年らと交流する必要がある。NPOとも連携し、積極的に取組を行うべきではないか。

### 【発 展】

#### (教育関連)

- ・教育関係について、目標値の設定が高いためか評価が低く出ているが、教育現場における、教員など関係者の意識がここ10年で変わってきているので、定性的な評価は上がってきていると感じている。学力・体力向上もいい方向に進んでいる。

#### (若者の内向化)

- ・若者の内向化が気になる。ネットなどの普及によるものか、子どもが人とふれあうことが少なくなっている。修学旅行等で海外に行くことが増えているが、それで終わりになっており海外に対する熱い思いを維持させる事も大切ではないか。

#### (NPO関連)

- ・NPO法人の指標「NPOへの事業委託件数」が低くなっているが、NPOの法人数は多い。法人をつくるだけでなく、うまく活かすこと。施策で使うことが必要ではないか。

### 【全 般】

#### (目標指標)

- ・レーダーチャートによる分析を見ると、生きがいはあるが、暮らしは悪いとなっていていたりしているので、政策のバランスを検討するべきでないか。
- ・分権確立とNPOの指標について、どのような指標があがれば、施策の本質目標が達成させるのかなど、目標指標の質も検討が必要ではないか。